

市町村名	金武町							
令和６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－①	プロスポーツ受入事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)－ア			
担当部課名	商工観光課	事業実施 （予定）年度	平成２８年～令和１３年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域活性化		
事業内容	本町に整備された金武町ベースボールスタジアムや金武町フットボールセンター等を活用し、プロスポーツチームや社会人チームのキャンプ等の受入れを実施している。長期の受入れを目指すため、競技環境の整備や受入れ体制の強化を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	47,174	47,393	53, 316	53, 316	54, 510	
		(b) 予算現額	46,126	51,928	53, 316	53, 316	64, 877	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,048	4,535	0	0	10,367	
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	46,126	51,928	53,316	53,316	64,877	
	B. 執行済額		46,126	51,928	52,821	54,895	64,394	
	うち交付金充当額		36,900	41,465	42,256	43,916	51,515	
	次年度繰越額							
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%	99.1%	103.0%	99.3%	
予算の状況の説明		令和6年度は受入チームのキャンプ日数等が増えたことにより、当初予算より増額となった。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R6活動目標（指標）		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	競技環境の整備（芝管理、グラウンド整備）	目 標	（ 芝管理、グラウンド整備 ）	（ 芝管理、グラウンド整備 ）	（ 芝管理、グラウンド整備 ）	（ 芝管理、グラウンド整備 ）		
		実 績	芝管理、グラウンド整備	芝管理、グラウンド整備	芝管理、グラウンド整備	芝管理、グラウンド整備		
	見学者受入体制の整備（清掃、警備対策）	目 標	（ 清掃、感染対策の実施 ）	（ 清掃、感染対策の実施 ）	（ 清掃、会場整理対策の実施 ）	（ 清掃、警備対策の実施 ）		
		実 績	清掃、感染対策の実施	清掃、感染対策の実施	清掃、会場整理対策の実施	清掃、警備対策の実施		
	プロスポーツ受入体制構築（テント設置、プレハブ設置）	目 標	（ テント設置、プレハブ設置 ）	（ テント設置、プレハブ設置 ）	（ テント設置、プレハブ設置 ）	（ テント設置、プレハブ設置 ）		
		実 績	テント設置、プレハブ設置	テント設置、プレハブ設置	テント設置、プレハブ設置	テント設置、プレハブ設置		
	スポーツ教室の開催	目 標	（ 2回 ）	（ 2回 ）	（ 2回 ）	（ 2回 ）		
		実 績	2回	2回	2回	2回		
	達成状況説明	競技環境の整備や受入体制を強化することで、継続した4チームを含む計6チーム受入れることができた。スポーツ教室についても目標を達成することができた。						
	成果目標 （指標） 及び進捗状況	R6成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	R4年度	R5年度	R6年度
R6年度プロチームキャンプの受入4チーム以上		目 標	（ ）	（ 4チーム ）	（ 4チーム ）	（ 4チーム ）	（ ）	
		実 績		5チーム	6チーム	6チーム		
受入チーム全体の観客数26,235名以上		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 26,235名 ）	（ ）	
		実 績				33,655名		
進捗状況説明		競技環境の良好さもあり、継続した4チームに加え、韓国プロ野球チーム1チーム、韓国女子プロサッカーチーム1チームを受け入れ、目標を上回る6チームを受入れることができた。また、令和6年度については、年間を通して環境整備を図ったことで、1年間継続的にキャンプを受け入れることができたことに加え、例年に比べ長期間のキャンプを実施できたことにより、33,655名の観客が来場し、事業の効果が得られたと考える。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）																																																
	近年、受入チームが徐々に定着し、キャンプ実施期間についても延びており、それが観客数の増加に繋がっていると考ええる。そのため、今後は定着している4チームの受入態勢を万全に整えることが適当であると考ええる。 プロ野球については、来場者の増加の他、屋内運動場も供用開始となり、必要な準備等も増える。また、Jリーグのシーズン移行に伴い、年2回のキャンプ受入の可能性はある。	引き続きキャンプを受入れることができるよう、最善の準備に努めなければならない。また、定着化が進む中、キャンプ期間中を含め年間を通した交流等についても検討を要する。																																																
今後の取り組み方針																																																		
これまで実施してきたグラウンド整備や良好な環境づくり、必要な準備を整えながら継続したキャンプを実施できるよう取り組む。受入チームの定着化に伴い、期間が延長されることや屋内運動場の利活用も視野に入れ、長期間のキャンプ、Jリーグのシーズン移行となった場合の対応、年間を通した交流ができるよう、球団や関係自治体と連携した取り組みを図る。																																																		
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）																																																		
<table><tr><td rowspan="10">金武町 64,394千円</td><td rowspan="2">需用費 1,857千円</td><td rowspan="2">消耗品費（黒土購入） 1,857千円</td><td>株式会社Ocean Green Corporation 1,857千円</td><td rowspan="2">〔黒土購入〕</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td rowspan="8">委託料 62,169千円</td><td rowspan="2">委託料（清掃） 700千円</td><td>合同会社SooZoo 700千円</td><td rowspan="2">〔施設清掃・ごみ収集委託〕</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td rowspan="2">委託料（テント等設置） 3,882千円</td><td>有限会社砂辺テント 3,882千円</td><td rowspan="2">〔テント等設置委〕</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td rowspan="2">委託料（プレハブ設置） 6,026千円</td><td>大永建設工業株式会社 6,026千円</td><td rowspan="2">〔プレハブ設置委託〕</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td rowspan="2">委託料（芝管理） 39,270千円</td><td>一般社団法人GREEN FIELD OKINAWA 39,270千円</td><td rowspan="2">〔芝管理委託（フットボールセンター・陸上競技場・野球場）〕</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td rowspan="2">委託料（人材派遣） 2,706千円</td><td>丸正印刷株式会社 2,706千円</td><td rowspan="2">〔会場整理等 人材派遣業務〕</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td rowspan="2">委託料（グラウンド整備） 1,650千円</td><td>一般社団法人GREEN FIELD OKINAWA 1,650千円</td><td rowspan="2">〔グラウンド整備業務〕</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td rowspan="2">委託料（イレクターフェンス設置） 3,150千円</td><td>株式会社藤村興行企画 3,150千円</td><td rowspan="2">〔イレクターフェンス設置業務〕</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td rowspan="2">委託料（外野側溝蓋設置） 4,785千円</td><td>比嘉総建工業 4,785千円</td><td rowspan="2">〔外野側溝蓋設置業務〕</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td rowspan="2">賃借料 368千円</td><td rowspan="2">車借上料（整備車両） 368千円</td><td>トヨタ自動車株式会社 368千円</td><td rowspan="2">〔グラウンド整備 車両借上料〕</td></tr><tr><td></td></tr></table>							金武町 64,394千円	需用費 1,857千円	消耗品費（黒土購入） 1,857千円	株式会社Ocean Green Corporation 1,857千円	〔黒土購入〕		委託料 62,169千円	委託料（清掃） 700千円	合同会社SooZoo 700千円	〔施設清掃・ごみ収集委託〕		委託料（テント等設置） 3,882千円	有限会社砂辺テント 3,882千円	〔テント等設置委〕		委託料（プレハブ設置） 6,026千円	大永建設工業株式会社 6,026千円	〔プレハブ設置委託〕		委託料（芝管理） 39,270千円	一般社団法人GREEN FIELD OKINAWA 39,270千円	〔芝管理委託（フットボールセンター・陸上競技場・野球場）〕		委託料（人材派遣） 2,706千円	丸正印刷株式会社 2,706千円	〔会場整理等 人材派遣業務〕		委託料（グラウンド整備） 1,650千円	一般社団法人GREEN FIELD OKINAWA 1,650千円	〔グラウンド整備業務〕		委託料（イレクターフェンス設置） 3,150千円	株式会社藤村興行企画 3,150千円	〔イレクターフェンス設置業務〕		委託料（外野側溝蓋設置） 4,785千円	比嘉総建工業 4,785千円	〔外野側溝蓋設置業務〕		賃借料 368千円	車借上料（整備車両） 368千円	トヨタ自動車株式会社 368千円	〔グラウンド整備 車両借上料〕	
金武町 64,394千円	需用費 1,857千円	消耗品費（黒土購入） 1,857千円	株式会社Ocean Green Corporation 1,857千円	〔黒土購入〕																																														
	委託料 62,169千円	委託料（清掃） 700千円	合同会社SooZoo 700千円	〔施設清掃・ごみ収集委託〕																																														
		委託料（テント等設置） 3,882千円	有限会社砂辺テント 3,882千円	〔テント等設置委〕																																														
		委託料（プレハブ設置） 6,026千円	大永建設工業株式会社 6,026千円	〔プレハブ設置委託〕																																														
		委託料（芝管理） 39,270千円	一般社団法人GREEN FIELD OKINAWA 39,270千円	〔芝管理委託（フットボールセンター・陸上競技場・野球場）〕																																														
委託料（人材派遣） 2,706千円	丸正印刷株式会社 2,706千円	〔会場整理等 人材派遣業務〕																																																
委託料（グラウンド整備） 1,650千円	一般社団法人GREEN FIELD OKINAWA 1,650千円	〔グラウンド整備業務〕																																																
委託料（イレクターフェンス設置） 3,150千円	株式会社藤村興行企画 3,150千円	〔イレクターフェンス設置業務〕																																																
委託料（外野側溝蓋設置） 4,785千円	比嘉総建工業 4,785千円	〔外野側溝蓋設置業務〕																																																
賃借料 368千円	車借上料（整備車両） 368千円	トヨタ自動車株式会社 368千円	〔グラウンド整備 車両借上料〕																																															
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明																																														
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○随意契約で契約したが、金武町財務規則に基づいて契約締結しており、選定方法は妥当であった。																																														
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○概ね予定していた通りに事業を執行できており、予算規模は適正であったと考える。																																														
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。																																														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																																																

市町村名	金武町							
令和６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－②		金武町観光振興等推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	商工観光課		事業実施 （予定）年度	令和元年～令和８年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光推進		
事業内容	本町の魅力ある観光資源を活用し、情報発信、誘客拡大、町内周遊、エコツーリズム観光の推進することで、観光振興による地域産業の活性化に資する。また、本町の特性を活かした地域活性化イベント等を開催し町への誘客を図るとともに町の観光情報等を効果的に発信する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	53,465	69,971	49,995	50,386	71,321	
		(b) 予算現額	59,688	59,851	53,472	50,386	65,520	
		(c) 増減額 (b-a)	6,223	-10,120	3,477	0	-5,801	
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	59,688	59,851	53,472	50,386	65,520	
	B. 執行済額		59688	59851	53,472	50,386	65,487	
	うち交付金充当額		47750	47880	42,256	40,308	49,849	
	次年度繰越額							
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	
予算の状況の説明		一部不用額がでたが、概ね当初の計画どおり、執行することができた。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R6活動目標（指標）		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	観光物産PR業務	目 標	()	()	(3件)	(6件)		
		実 績			3件	9件		
	地域活性化イベント業務	目 標	()		(5件)	(7件)		
		実 績			6件	7件		
	観光PRツール作成業務	目 標	()		()	(ガイドマップ3冊作成)		
		実 績				ガイドマップ3冊作成		
	達成状況説明	(観光物産PR) プロスポーツキャンプ受入チームのホームスタジアム等を活用し、観光物産PRすることができ、多くの来場者があった。 (地域活性化イベント) 本町の特性を活かした、金武町たんぼフェスタ、金武町大綱曳、新開地フェスティバル等7件のイベントを開催することができた。 (観光PRツール作成) 新規のガイドマップを作成しイベント等と関連づけることで効果的に情報を発信することができた。						
	成果目標 （指標） 及び進捗状況	R6成果目標（指標）			基準値 （ 年度 ）	R4年度	R5年度	R6年度
①観光物産PR 6回以上 合計来店者数 3,300人		目 標	()	(1,972人)	(1,972人)	(3,000人)	()	
		実 績		2,000人	3,580人	4,530人		
②イベント7回以上 合計来場者数13,900人		目 標	()	()	(4,000人)	(13,900人)	()	
		実 績			9000人	15,050人		
進捗状況説明		本町の特性を活かした地域活性化イベント、金武町たんぼフェスタ、金武町大綱曳、新開地フェスティバル等7件のイベントを開催し、15,000人以上の方に来場いただいた。また、プロスポーツキャンプ受入チームのホームスタジアム等を活用し、観光物産PRすることができ、4,500人以上の来場者があった。今後も効果的なイベント、PRを行い観光需要の取り込みを目指す。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）																								
	既存の観光資源の他、温泉ホテルやKINサンライズビーチなどの近年開業した施設を活用した新たな観光需要の取り込みや、イベント等を活用した町内周遊の取り組みが必要となる。	温泉ホテルやKINサンライズビーチの周知を図るための情報発信やイベント等を実施し、「知ってもらう」「来てもらう」の取り組みを行う必要がある。 今後は、イベント開催や観光物産PR等へ注力するとともに、周知等の情報発信にも力を入れていく。																								
今後の取り組み方針																										
「知ってもらう」「来てもらう」情報発信やビーチ等での誘客イベントを強化するとともに、本町の豊かな自然環境を活かしたアクティビティや充実した体育施設、医療施設、温泉施設等が一体となった観光メニュー等について、関連団体と取り組むことで新たな観光需要の取り込みや町内周遊に繋げる。																										
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）																										
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>71,149</td><td>65,487</td><td>49,849</td><td>15,638</td><td>5,662</td></tr></table> <table><tr><td rowspan="4">金武町 71,149千円</td><td>委託料 40,981千円</td><td>→</td><td>一般社団法人 金武町観光協会 40,981千円</td><td rowspan="4">金武町観光振興 推進事業</td></tr><tr><td>委託料 7,040千円</td><td>→</td><td>特定非営利活動法人雄飛 ツーリズムネットワーク 7,040千円</td></tr><tr><td>委託料 3,300千円</td><td>→</td><td>金武町商工会 3,300千円</td></tr><tr><td>補助金 19,828千円</td><td>→</td><td>金武町まつり実行委員会 19,833千円</td></tr></table>			総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	71,149	65,487	49,849	15,638	5,662	金武町 71,149千円	委託料 40,981千円	→	一般社団法人 金武町観光協会 40,981千円	金武町観光振興 推進事業	委託料 7,040千円	→	特定非営利活動法人雄飛 ツーリズムネットワーク 7,040千円	委託料 3,300千円	→	金武町商工会 3,300千円	補助金 19,828千円	→	金武町まつり実行委員会 19,833千円
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費																						
71,149	65,487	49,849	15,638	5,662																						
金武町 71,149千円	委託料 40,981千円	→	一般社団法人 金武町観光協会 40,981千円	金武町観光振興 推進事業																						
	委託料 7,040千円	→	特定非営利活動法人雄飛 ツーリズムネットワーク 7,040千円																							
	委託料 3,300千円	→	金武町商工会 3,300千円																							
	補助金 19,828千円	→	金武町まつり実行委員会 19,833千円																							
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明																							
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者選定は、地方自治法施行令第167条の2第1号に基づき随意契約を交わしており、妥当であったと考えている。 ○事業内容も効果的で予算規模は適正であったと考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。																							
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。																								
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。																								
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																								

市町村名	金武町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－3－(9)－ア		
担当部課名	社会教育課	事業実施 (予定)年度	令和3年～令和7年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	
事業内容	金武町ベースボールスタジアムにおいて、プロチームのキャンプや県内外の大学、高校の合宿、各種大会等及び国際交流試合等と多岐にわたる開催実現に向け、スタジアムの機能高度化に係る工事を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和8年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算の状況	(a)当初予算額	42,467	106,002	72,119	13,849	
		(b)予算現額	41,074	94,776	73,830	36,630	
		(c)増減額(b-a)	▲1,393	▲11,226	1,711	22,781	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	41,074	94,776	73,830	36,630	0
	B.執行済額		41,074	94,776	73,830	36,630	
	うち交付金充当額		32,859	75,820	59,064	29,304	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!
予算の状況の説明		増額分22,781千円については、サブグラウンドの防球ネットを設置するための増額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	外野スタンド改修工事・サブグラウンド防球ネット設置工事の完了	目 標	()	()	(工事の完了)	()	
		実 績			工事の完了		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	予定通り工期限内に工事を完了することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (8年度)
	周辺環境整備工事(外野スタンド改修工事)・サブグラウンド防球ネット設置工事の完了	目 標	()	()	()	(工事の完了)	()
		実 績				工事の完了	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	工期限内に工事を完了することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）											
	・工期内に工事が完了したため、課題はないと考える。	・周辺環境整備工事（外周道路整備、間知ブロック設置）を行い、利用者に対しより機能の高いスタジアムの形成を目指すとともに、安全な観戦環境を整え、観光振興の促進に繋げていく。											
今後の取り組み方針													
今後もプロ野球キャンプや合宿及び県内各種野球大会等を継続して受け入れるとともに、新たな大会等の利用にも繋げていく。													
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）													
		<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>36,630</td><td>36,630</td><td>29,304</td><td>7,326</td><td></td></tr></table>		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	36,630	36,630	29,304	7,326	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
36,630	36,630	29,304	7,326										
金武町 36,630千円 工事請負費 11,880千円 合同会社 昭浩建設 11,880千円 （金武町ベースボールスタジアム 外野スタンド改修工事） 委託料 880千円 株式会社 渡南エンジニアリング 880千円 （金武町ベースボールスタジアム 外野スタンド改修工事 現場技術業務委託） 工事請負費 23,100千円 有限会社 銘苅工業 23,100千円 （金武町ベースボールスタジアム サブグラウンド防球ネット設置工事） 委託料 770千円 株式会社 渡南エンジニアリング 770千円 （金武町ベースボールスタジアム サブグラウンド防球ネット設置工事 現場技術業務委託）													
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札で選定しており妥当であるとする										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○適切な規模である										
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○精算段階で検査しており、適切である										

市町村名	金武町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	金武町就職活動支援補助事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 沖縄振興基本方針 該当箇所	第4章-3-(11)-ア 雇用機会の確保と多様な人材の活躍促進			
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27年度～ 令和8年度		Ⅲ-2			
事業内容	雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求人・求職等の情報提供を行うと共に、相談員による就業相談や求職者並びに町内事業所の従業員のスキルアップを図る為に資格取得講座を開催する。 また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	30,792	28,764	28,764	24,721	25,217	
		(b)予算現額	24,469	22,079	24,211	23,522	25,217	
		(c)増減額(b-a)	-6,323	-6,685	-4,553	-1,199	0	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	24,469	22,079	24,211	23,522	25,217	
	B.執行済額		23,213	22,079	22,939	23,442	24,574	
	うち交付金充当額		18,570	17,663	17,876	18,753	18,912	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		94.9%	100.0%	94.7%	99.7%	97.5%	
	予算の状況の説明		減額理由として、資格取得講座委託料及びシステム維持管理費で、受講日数の短縮・システムの不具合等が生じず 不用となったことによる減額である。					
活動目標(指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	各種講座開催11回	目 標	(11講座)	(10講座)	(12講座)	(11講座)		
		実 績	8講座	9講座	12講座	11講座		
	キャリア教育8回(小学校3回・中学校5回)	目 標	(小3回・中5回)	(小3回・中5回)	(小3回・中5回)	(小3回・中5回)		
		実 績	小3回・中3回	小3回・中5回	小3回・中5回	小3回・中5回		
	合同企業説明会1回	目 標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)		
		実 績	0回	1回	1回	1回		
	達成状況説明	・各種講座については、町内求職者及び各種事業所のニーズを把握し、予定していた講座を全て開催することができた。 ・キャリア教育については、町内の全小学校・中学校に対して実施し、目標としていた実施回数を達成できた。 ・合同企業説明会については、参加企業数が12社あり、雇用につながった。						
	成果目標(指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度
就業率10%		目 標	()	(10.00%)	(10.00%)	(10.00%)	()	
		実 績		3.44%	3.57%	5.96%		
資格取得率80%以上		目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実 績		86%	88%	86%		
キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実 績		95%	87%	97%		
進捗状況説明		・就職相談や求人情報収集で当センターへ来所する方は多数いたが、紹介状発行までを求める方は少なく、就業率が目標に届かなかったものの、紹介状発行した方のほとんどが採用されていた。 ・資格取得率については、受講生アンケートから講師が丁寧に教えて頂き分かりやすかったとの回答があり、受講生の頑張りと講師陣の良さが合格率の達成につながったと思われる。 ・キャリア教育については、自分に合う職業を探す自己分析やビジネスマナー講座及び母校出身者による職業人講話等を実施した結果、達成率97%であり、児童生徒が働くことへの関心が高まったと考えられる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)											
	(就業率) ライフスタイルの変化によって、希望する働き方(リモート勤務や短時間勤務、休日が調整しやすいなど)が多様化してきている。 事業者と求職者のニーズ(フルタイム勤務、パート勤務、土日の就業など)が合致しないことが多くあったことが、就業率の目標を達成出来なかった要因と考える。 (資格取得率) 開催している資格取得講座は、講師陣が受講生の授業内容の理解度を見ながら、分かりやすく教えていることから合格率が高くなっている。 (キャリア教育) キャリア教育については、児童生徒が自らの将来を考える上で、働くことへの興味・関心、将来を計画的に取り組む態度を育成する必要がある。		(就業率) 企業と求職者のマッチングがうまくいくように、面接相談等を引き続き実施し、町内雇用の拡大に努める。 (資格取得率) 実用性及び就職と結びつきが高い講座、並びにアンケートの中で取得したい資格としてニーズがある講座を開催する必要がある。 (キャリア教育) キャリア教育については、児童生徒が働くことへ興味・関心が湧くよう、町内事業者や卒業生、多様な職種の方の話を聞くことが大事であると考えられる。											
今後の取り組み方針														
(就業率) 就職相談や求人情報収集が増えているが、紹介状の発行が少ないので、丁寧に希望職種、条件を聞き取りしながら、紹介状発行までつなげる。 (資格取得率) 就職に必要な資格取得のための各種講座を開催し、雇用機会の増大を図る。並びに町内の事業所の従業員のスキルアップのための講座も開催する。 (キャリア教育) 引き続き学校及び各種団体等と連携し、先進的・効果的な取り組みをすることで児童生徒が働くことへの興味・関心を促すことに繋げる。														
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>24,574</td><td>24,574</td><td>18,912</td><td>5,662</td><td>0</td></tr></table> 金武町 24,574千円 → 補助金 24,574千円 → 金武町就活支援センター 24,574千円 金武町就職活動支援補助事業					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	24,574	24,574	18,912	5,662	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
24,574	24,574	18,912	5,662	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の適正化に関する条例及び団体補助金等交付規則に基づき適正に選定した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○今年度は、全ての講座が実施された。委託事業者との調整の中で不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度運営者との間で協議し、適正であると判断している。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-②	観光地周辺環境美化事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア			
担当部課名	建設課、社会教育課	事業実施 (予定)年度	令和5年度～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	「新しい生活様式」における安全・安心で快適な観光の推進		
事業内容	観光客の受入体制の整備を図るため、観光地へのアクセス道路及び公園(観光資源)の環境美化清掃を行うことにより、観光地としての魅力を最大限向上させる。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	14,276	17,733				
		(b)予算現額	15,519	18,898				
		(c)増減額(b-a)	1,243	1,165	0	0	0	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	15,519	18,898	0	0	0	
	B.執行済額		15,034	18,898				
	うち交付金充当額		12,027	14,983				
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		96.9%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		給与改定により、報酬・期末手当・共済費などが増になったため、年度途中に増額した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	観光地へのアクセス道路及び公園(観光資源)の環境美化実施	目 標	観光地等の (環境美化の 実施)	観光地等の (環境美化の 実施)	()	()		
		実 績	観光地等の環境美 化の実施	観光地等の環境美 化の実施				
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
	達成 状況 説明	観光地へのアクセス道路及び公園(観光資源)について、環境美化を実施することができた。						
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度
本町が観光地としてふさわしい景観であるか (80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目 標	()	(80%)	(80%)	()	()	
		実 績		91.6%	94.76%			
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進 捗 状 況 説 明		・観光客を対象とした「金武町の観光地の景観について、魅力があると感じるか?」というアンケートで、「そう思う」と回答した割合が94.76%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）											
	・作業日程を事前に計画し、進捗状況に応じてしっかりと管理していたことが、目標達成につながったと考える。 ・作業を行う際、通行人や通行車両に注意し、事故防止に努める。 ・夏場や台風シーズンは作業量が多くなるため、それを考慮したスケジュール管理をする必要がある。	・観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数等を検討する。											
今後の取り組み方針													
観光客の往来が活発である今、引き続き観光地及び観光地へのアクセス道路の美化作業を継続し、町の風景や観光地としての魅力を最大限感じられる環境づくりをすることで、町の活性化や観光業の発展に寄与する。また、観光地における道路景観の重要性や各地でイベントが増加している状況をふまえ、さらに環境美化が必要な道路の調査を実施していく。													
資金の流れ													
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）													
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>18,898</td><td>18,898</td><td>14,983</td><td>3,915</td><td>0</td></tr></table> 金武町 18,898千円 報酬 12,092千円 職員手当 4,197千円 共済費 2,488千円 旅費（費用弁償） 121千円 環境美化作業員 5名				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	18,898	18,898	14,983	3,915	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
18,898	18,898	14,983	3,915	0									
資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明										
	－	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。											

市町村名	金武町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	小中学校学習等支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア			
担当部課名	学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の 推進		
事業内容	町内の小中学校へ外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し、外国語の基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	34,757	38,802	23,597	26,491	37,862	
		(b)予算現額	32,057	23,218	23,232	26,154	29,380	
		(c)増減額(b-a)	▲2,700	▲15,584	▲365	▲337	▲8,482	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	32,057	23,218	23,232	26,154	29,380	
	B.執行済額		30,991	22,786	23,232	26,154	27,535	
	うち交付金充当額		24,792	18,228	18,586	20,921	21,934	
	次年度繰越額							
	執行率(％)(B/A)		96.7%	98.1%	100.0%	100.0%	93.7%	
予算の状況の説明		○職員の退職が続き、8,482千円の減額となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	○英語教育指導員配置数	目 標	(小学校:4人 中学校:2人)	(小学校:4人 中学校:2人)	(小学校:4人 中学校:2人)	(小学校:4人 中学校:2人)		
		実 績	小学校:4人 中学校:2人	小学校:4人 中学校:2人	小学校:4人 中学校:2人	小学校:4人 中学校:2人		
	英語コーディネーター配置数	目 標	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)		
		実 績	教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人		
達成 状 況 説 明	○当初の計画どおり各学校へ配置し事業が執行できた。 ○月に1回のミーティングを通して、各学校での取り組みや検証などの情報交換ができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	①小学校 児童英検(シルバー)において、全国平均との 平均正答率の差 -4%以上	目 標	()	()	正答率の差 -4%以内 (82.6%)	正答率の差 -4%以内 (82.5%)	()	()
		実 績			正答率の差 -2.6%以内 (79.9%)	正答率の差 0.3%増 (82.8%)		
	②中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格 率31.6%以上	目 標	()	()	合格率 31.6%以上	合格率 31.6%以上	()	()
		実 績			39.8%	42.5%		
	児童・生徒にアンケートを実施し英語の授業 は楽しかったと回答した割合が95%以上	目 標	()	()	()	()	95%以上	()
		実 績					86.9%	
	進 捗 状 況 説 明	○令和6年度から学年別に「英語の授業が楽しかったか」という成果目標に変えたことに伴い、学年別の授業に対する考え方を把握することができた。 ○児童・生徒を対象としたアンケートにおいて、「英語の授業は楽しかった」と回答した割合が、86.9%となり、目標を達成できなかった。 ○アンケートの結果によると、小学生は比較的英語の授業を楽しいと捉えていたが、中学生になると楽しいと捉える生徒が小学生よりも下回ることが明らかになった。 ○中学生については、「英語の授業が楽しかったか」との問いに対し、小学生と比較し数値は下がっている。						

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）		改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）													
取組の検証	○小学校1年生については、初めて英語に触れる児童が大半であり、最初のアプローチで英語に抵抗がないよう工夫することができた。	○小学校低学年については、英語のゲームや歌など抵抗感なく触れられるアプローチを続けることとする。													
	○成果目標の数値が適正な数値か否かを英語コーディネーターや指導助手等と検証する必要がある。	○中学生については、「英語の授業が楽しかったか」との問いに対し、小学生と比較し数値は下がっているが、自由記述の中では肯定的な意見もあるため、アンケートを参考にして授業を組み立てる必要がある。													
		○普段の学校生活（休み時間等）において教員や支援員が児童・生徒に対し英語で話しかけるなど工夫が必要とある。													
今後の取り組み方針															
「英語の授業が楽しかったか」という成果目標にしたことにより、児童・生徒の英語に対する意識と意欲が数値化され、これまで検証や今後の取り組み方など参考になったと考える。成果指標の目標値には届かなかったが、授業以外での英語のアプローチ（休み時間等）を積極的な取り組みなど、教員と支援員が工夫して取り組む。															
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）															
<table><tr><td rowspan="2">総事業費</td><td rowspan="2">交付対象事業費</td><td colspan="2">交付金充当額</td><td rowspan="2">交付対象外経費</td></tr><tr><td>市町村負担金</td><td></td></tr><tr><td>27,783</td><td>27,535</td><td>21,934</td><td>5,601</td><td>248</td></tr></table> 金武町 27,535千円 報酬 17,215千円 職員手当 6,287千円 共済費 3,356千円 旅費（費用弁償） 677千円 中川小学校 1名 〔 外国人英語指導員 1名 〕 金武小学校 2名 〔 日本人英語指導員 1名 外国人英語指導助手 1名 〕 教育委員会 1名 〔 英語コーディネーター 1名 〕 嘉芸小学校1名 〔 外国人英語指導助手 1名 〕 金武中学校 2名 〔 外国人英語指導員 2名 〕 ほか交付対象外経費 248千円				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費	市町村負担金		27,783	27,535	21,934	5,601	248
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額				交付対象外経費									
		市町村負担金													
27,783	27,535	21,934	5,601	248											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明											
	-	支出先の選定方法は妥当か。		○予算規模については、職員の退職を除けばほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名	金武町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-②	特別支援教育支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ			
担当部課名	学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	時代に対応する魅力ある学校 づくりの推進		
事業内容	町内各小中学校において特別な支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、学級担任と連携して適切な特別支援教育を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	34,757	38,802	23,597	47,732	67,334	
		(b)予算現額	32,057	23,218	23,232	35,659	54,099	
		(c)増減額(b-a)	▲2,700	▲15,584	▲365	▲12,073	▲13,235	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	32,057	23,218	23,232	35,659	54,099	
	B.執行済額		30,991	22,786	23,232	35,001	51,911	
	うち交付金充当額		24,792	18,228	18,586	28,000	41,391	
	次年度繰越額							
	執行率(％)(B/A)		96.7%	98.1%	100.0%	98.2%	96.0%	
予算の状況の説明		○概ね当初の計画どおり事業が執行できた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	特別支援教育支援員の配置 19人 (内訳) ○幼稚園1人 ○小学校14人 ○中学校4人		目 標	幼稚園1人 小学校11人 中学校4人	幼稚園1人 小学校11人 中学校4人	幼稚園1人 小学校14人 中学校4人	幼稚園1人 小学校14人 中学校4人	
			実 績	小学校12人 中学校4人	幼稚園1人 小学校12人 中学校2人	幼稚園1人 小学校10人 中学校3人	小学校13人 中学校5人	
達成状況説明		○小学校に13人、中学校に5人の計18人の支援員を配置した。 ○中川幼稚園に1人の支援員の配置を予定していたが、入園希望者なしのため1年休園となり、配置する必要がなくなった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
			目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
	特別支援教育支援員の配置により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。		実 績		88%	87%	91%	
	進捗状況説明		○保護者へのアンケートの結果によると、88%が学校生活や学習上の困難が改善されたと回答があった。 ○年度当初において支援員が足りない状況があったが、学校管理職や現場の教員と連携・調整し、年間通して滞りなく授業を実施することができた。					

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）		改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）											
取組の検証	○本事業による支援員の配置については、概ね保護者の理解を得ている。 ○支援員の適正配置については、年度当初における支援員確保が課題となっている。	○今後も学校現場と連携・調整し、必要な支援員の確保に努める。 ○他市町村においても特別支援教育は重要な活動となっており、支援員の確保が課題となっていることから、退職した教職員も含めた人材の確保に努める。											
	今後の取り組み方針												
○支援員の確保については、管轄する教育事務所や町が設置している就活支援センター及び教職員等と情報交換しながら、年度当初から適正な人数を確保するよう取り組む。 ○支援員に対しては、専門家による研修や講話等を開催し資質の向上を図りながら、児童・生徒が卒級できるよう努める。													
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）													
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>53,000</td><td>51,911</td><td>41,391</td><td>10,520</td><td>1,089</td></tr></table> 金武町 51,911千円 報酬 33,930千円 職員手当等 10,955千円 共済費 5,668千円 旅費 1,358千円 特別支援教育支援員 中川小学校 2人 金武小学校 8人 嘉芸小学校 3人 金武中学校 5人 〔ほか交付対象外経費〕 1,089千円				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	53,000	51,911	41,391	10,520	1,089
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
53,000	51,911	41,391	10,520	1,089									
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明										
	-	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模については事業内容に見合った適正な規模であるが、フルタイムで働ける人が見つけられなかったことが課題である。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。											

市町村名	金武町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-③	金武町ハワイ短期留学派遣事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 沖縄振興基本方針 該当箇所	第4章-5-(3)-ア 国際感覚を身に付ける教育の 推進			
担当部課名	学校教育課	事業実施 (予定)年度	令和2年度 ～ 令和13年度		Ⅲ-3-(1)			
事業内容	中学生・高校生10人をハワイへ派遣し、国際的な広い視野を持つ人材を育成する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他 ()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度				
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	17,309	8,767				
		(b) 予算現額	10,297	8,492				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 7,012	▲ 275	0	0	0	
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	10,297	8,492	0	0	0	
	B. 執行済額		10,297	8,490				
	うち交付金充当額		8,237	6,792				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	予算の状況の説明		○概ね当初の予定どおり事業を執行することができた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度				
	○町内在住の中学生・高校生(10人)及び引率職員(1人)をハワイへ派遣	目 標	(生徒12人 引率2人)	(生徒10人 引率1人)	()	()		
		実 績	生徒12人 引率2人	生徒10人 引率1人				
	○「金武町ハワイ派遣事業体験記」の作成及び発行(帰国後)	目 標	(作成及び発行)	(作成及び発行)	()	()		
		実 績	作成及び発行	作成及び発行				
	達成状況説明	○令和5年度については、コロナ禍の影響で渡航できなかった生徒を考慮し12人(引率2人)としたが、令和6年度からは10人(引率1人)とし、予定どおり派遣することができた。 ○体験記については、現地での学習、生活、異文化、町人会と交流など様々な体験内容を収めたほか、体験報告会の様子やその準備に取り組む過程を掲載した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R5年度	R6年度		目標値 (年度)
	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	()	()	
		実 績		100%	100%			
	進捗状況説明	○アンケートの結果については、授業及び課外授業等で英語によるコミュニケーションを実践することにより自信に繋がり、ハワイを含めた英語圏のことを更に知ってみたいとの回答があった。また、すべての生徒がもう一度ハワイに留学したい回答を得た。 ○ハワイ東海大学内の学習のみではなく、課外授業や町人会との交流など現地でしかできない経験を積むことで、国際的な視野が広がったと思慮する。						

取組の検証

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）

改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）

○留学先であるハワイ東海大学や町人会を密に連携を図り、滞りなく行程を完了することができた。

○町人会との交流については、ハワイの文化や沖縄移民の歴史、ハワイの情勢・状況など大学の授業では学べないことを補完していただいた。

○体験報告会の進め方については、保護者や関係者の意見を踏まえ、体験内容を英語を用いて発表することができた。また、課外授業で体験したフラダンスも併せて披露することができた。

○ハワイ東海大学や町人会の状況を常に把握するため、引き続き連携を密にし、事業の行程が円滑に実施できるよう取り組む。

○授業の内容やその他のカリキュラムについては、良かった点、改善が必要な点を洗い出し、より良い事業ができるよう取り組む。

○体験報告会については、参加した生徒や保護者、関係者の意見を拝聴しより良い報告会が実施できるよう努める。

今後の取り組み方針

○本事業に参加した生徒のアンケートにおいては、英語のみを用いた授業を実施することにより英語に対する意識の向上、英会話によるコミュニケーションの重要性を感じていることが伺える結果となった。今後もより実践的な英語学習や英会話が学べるようカリキュラムの工夫に努めるとともに、町人会との交流も引き続き実施し、参加した生徒が幅広い視野と国際感覚が身につくよう取り組む。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,640	8,490	6,792	1,698	150

金武町
8,490千円

報償費
350千円

旅 費
766千円

需用費
93千円

役務費
1千円

役務費
480千円

負担金補助、及び交付金
6,800千円

学校教育課長

神田 康秀

赤道印刷(有)

学校教育課長

学校教育課長

学校教育課長

株ビジョン

学校教育課長

派遣生徒保護者
(10人)

ほか交付対象外経費
150千円

資金の流
れ、費
目・
点検
評価

評価

点 検 項 目

評価に関する説明

○

支出先の選定方法は妥当か。

○支出先は町の規定に基づき選定しており、妥当であったと考えている。

○

予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。

○予算規模は事業内容に見合っており適正であったと考える。

○

受益者との負担関係は妥当であるか。

○費用や使途については、精算段階で検査をしており、目的に即し必要なものであったと考えている。

○

費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。

○受益者である派遣生徒保護者は総事業費の2割5分を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。

市町村名		金武町								
令和６年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】										
事業番号・事業名		3-④	金武町立学校ICT機器機能強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ			
担当部課名		学校教育課	事業実施 （予定）年度	令和6年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Societyに対応する教育の推進				
						Ⅲ-3-(1)				
事業内容		画面の明瞭さや円滑な画面の切り替えなどよりわかりやすい授業の実施を目指し、児童・生徒の学習習熟度の向上に寄与することを目的として、町内各小中学校へテレビ型電子黒板を設置する。								
効果発現年度		■ 当年度 □ 後年度（ 年度）								
実施方法		■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）								
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）				R6年度						
		予算 の 状 況	(a) 当初予算額	9,295						
			(b) 予算現額	9,020						
			(c) 増減額 (b-a)	▲ 275	0	0	0	0	0	
			(d) 繰越額							
			A. 計 (b+d)	9,020	0	0	0	0	0	
		B. 執行済額		8,035						
		うち交付金充当額		6,428						
		次年度繰越額								
		執行率（％）(B/A)		89.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		○概ね当初当初の計画どおり事業が執行できた。								
活動目標 （指標） 及び達成状況		R6活動目標（指標）		達成状況						
		テレビ型電子黒板の整備 10台	目 標	(10台)	()	()	()	()		
			実 績	10台						
			目 標	()	()	()	()	()		
			実 績							
		達成 状 況 説 明	当初の計画（中川小1台、金武小3台、嘉芸小2台、金武中4台）どおりテレビ型電子黒板を配置することができた。金武中については、3年生の普通教室すべてにテレビ型電子黒板を設置することができた。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況		R6成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	R6年度				目標値 （ 年度）
		児童・生徒にアンケートを実施し、テレビ型電子黒板を活用した授業がわかりやすかったと回答した割合	目 標	()	(80%以上)	()	()	()	()	
			実 績			97%				
			目 標	()	()	()	()	()	()	
			実 績							
		進 捗 状 況 説 明	○児童・生徒を対象としたアンケートにおいて、「テレビ型電子黒板を活用した授業がわかりやすかった」と回答した割合が、97%となり、目標を達成した。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）													
	○アンケートの回答結果も概ね良好であり、授業が滞りなく円滑に進めることができている。 ○まだ設置が完了していない教室については、年次的に設置計画を立案し、学校側と協議する。	○授業に差支えがないよう、夏休み中の搬入・納品・設置に向けて学校及び落札業者と調整する。 ○新たに設置した電子黒板を有効的に活用できるよう、引き続き教職員を対象に操作研修を実施していく。													
今後の取り組み方針															
小学校においては、金武小及び嘉芸小学校の一部の普通教室にテレビ型電子黒板が設置されていないことから、当該教室を優先に設置していく。また、普通教室にテレビ型電子黒板の設置が完了した学校については、特別教室への設置に向けて取り組みを進めていく。 中学校においては、普通教室の設置が完了しており、今後は特別教室への設置に向けて取り組みを進めていく。															
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）															
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>9,020</td><td>8,035</td><td>6,428</td><td>1,607</td><td>985</td></tr></table> <pre>graph LR; A[金武町 8,035千円] --- B[NTT西日本 8,035千円]; B --- C1[中川小学校 (1台)]; B --- C2[金武小学校 (3台)]; B --- C3[嘉芸小学校 (2台)]; B --- C4[金武中学校 (4台)]; B --- D[ほか交付対象外経費 985千円];</pre>						総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,020	8,035	6,428	1,607	985
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費											
9,020	8,035	6,428	1,607	985											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先の選定は、指名競争入札で選定しており、妥当だったと考える。 ○予算規模については、適正及び妥当に執行した。 ○購入の経費のみを交付対象経費とし、その他の経費については、交付対象外経費とした。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

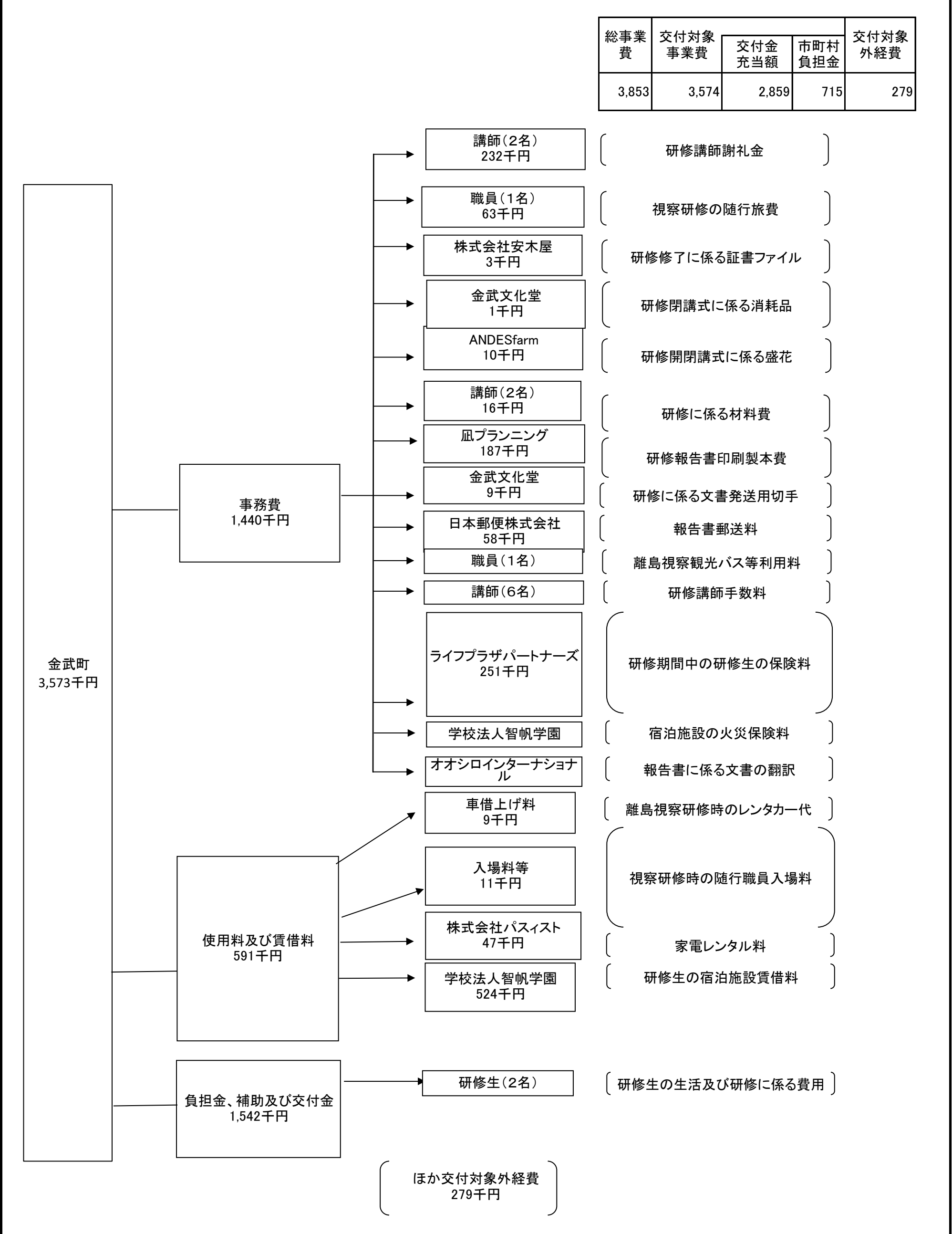
市町村名		金武町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		4-①		金武町海外移住者子弟等研修生受入事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア		
担当部課名		企画課		事業実施 (予定)年度	平成29～令和12年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	ウチナーネットワークの継承と 発展 Ⅲ-7		
事業内容		本町と海外移住国との友好親善及び人材育成に資することを目的に、海外移住者子弟等研修生の受け入れを実施する。 研修期間は、8月から12月までの約4カ月間で、語学研修をはじめ研修生が希望または専門とする研修のほか、琉球舞踊や三線など、沖縄の伝統芸能について理解を深め習得を目指し沖縄文化教養研修を行う。							
効果発現年度		■当年度 □後年度(年度)							
実施方法		■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
		予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,969	7,082				
			(b) 予算現額	6,615	3,888				
			(c) 増減額 (b-a)	-354	-3,194	0	0	0	
			(d) 繰越額						
			A. 計 (b+d)	6,615	3,888	0	0	0	
			B. 執行済額	6457	3573				
			うち交付金充当額	5165	2859				
			次年度繰越額						
			執行率 (%) (B/A)	97.6%	91.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	予算の状況の説明	受入研修生が3名から2名となり、事業費に減額が生じた。 予算執行については、当初の計画通り、研修の講師謝礼金をはじめとした事務費等を、予定通り執行できたことから執行率が高くなったと考える。							
活動目標 (指標) 及び達成状況		R6活動目標(指標)		達成状況					
					R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
		受入人数:3人		目 標	(3人)	(3人)	()	()	
				実 績	3人	2人			
		研修期間:8月～12月の間の約4ヶ月間		目 標	(4カ月)	(4カ月)	()	()	
				実 績	4カ月	4カ月			
		研修報告(閉講式):1回		目 標	(1回)	(1回)	()	()	
				実 績	1回	1回			
		達成 状 況 説 明	・受入人数については当初予定では3人であったが、1人キャンセルが出たため、2人の受入となった。 ・研修期間については、予定通り8月下旬～12月中旬までの約4ヶ月間の研修を実施・終了することができた。 ・研修報告である閉講式についても、予定通り実施することができた。						
		成果目標 (指標) 及び進捗状況		R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R5年度	R6年度
研修生が所属する各国金武町人会にアンケートを実施し、「研修に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動できているか」について80%以上を目指し、当該事業のあり方を検証する。				目 標	()	(80%)	(80%)	()	()
				実 績		100%	100%		
【参考指標】				目 標	()	()	()	()	()
				実 績					
進捗 状 況 説 明	各国金武町人会へアンケートを実施した結果、帰国後、研修生達は、町人会活動に参加している。また、本町からの派遣研修生と交流しているとの回答が得られ、目標である80%を達成することができた。								

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	帰国後すぐに、町人会行事等で研修成果を披露する場が設けられていることや、1月～2月にかけて本町から各国町人会へ派遣している研修生と交流する機会があったことが目標値を達成した一因となった。 今後は、町人会活動への参加、本町との交流を継続していくための取組が必要となる。	・町人会活動への継続的な参加を促すため、各国町人会と協力して取り組む。 ・研修期間中に、同年代同士が交流できる機会を増やし、次世代ネットワークの構築を推進する。

今後の取り組み方針

・定期的な交流の場を設けることや、町人会行事等で研修生に役割を与えることによって、町人会活動への継続的な参加を促す。
・地域の青年会活動への参加、元派遣研修生との交流の機会を提供し、次世代ネットワークの構築を推進する。

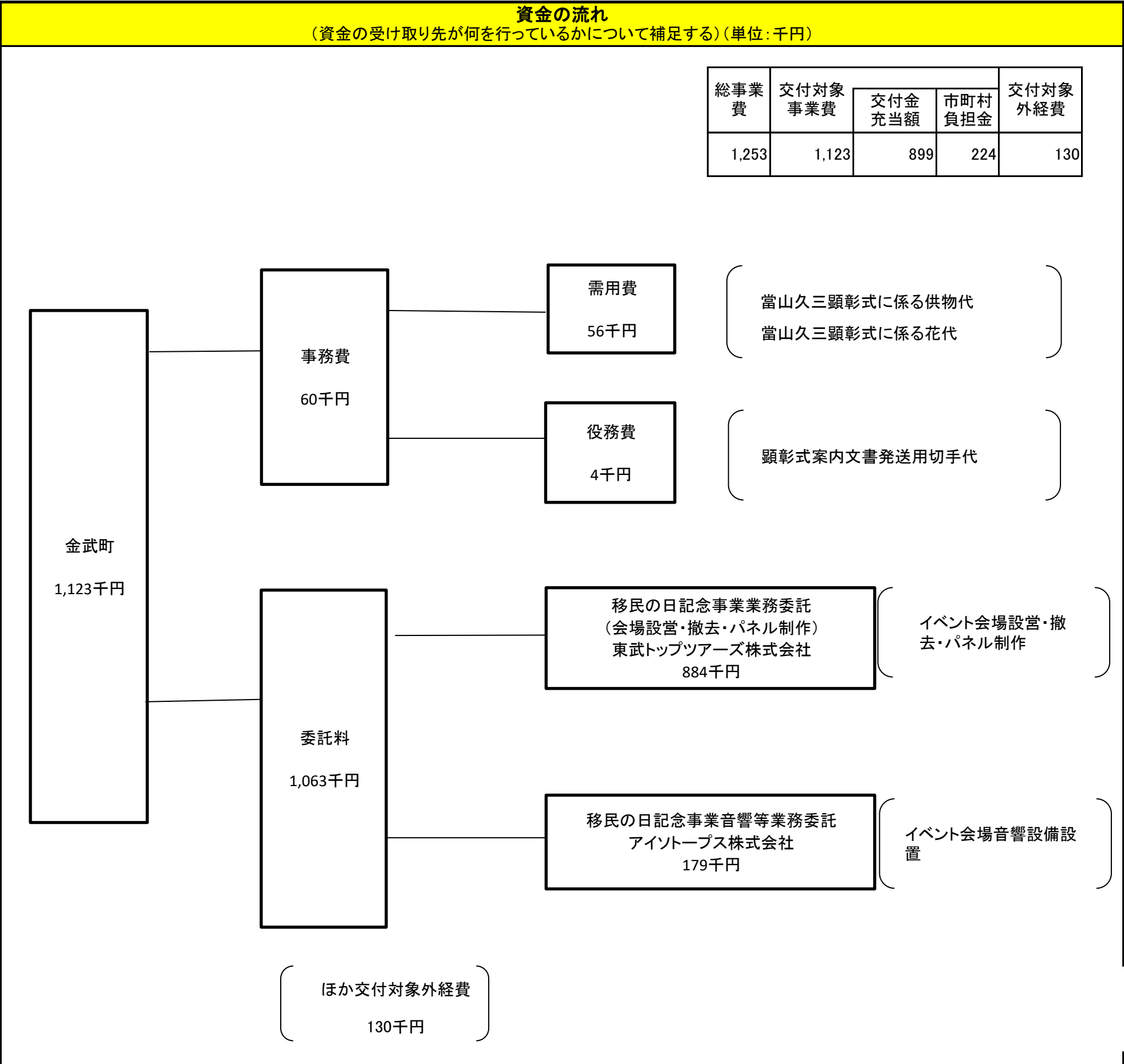
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各国町人会からの推薦に基づき研修生を選定しており、妥当だったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、研修期間及び人数に対して適正な規模だったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○研修以外の経費については、受益者(研修生)負担であり、妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名	金武町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	金武町移民の日記念事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア			
担当部課名	企画課	事業実施 (予定)年度	平成29～令和12年度		交流基盤としてのウチナーネット ワークの継承・発展			
事業内容	12月5日の金武町移民の日に當山久三顕彰式を実施し、沖縄から初めての移民を送り出した當山久三の偉業を讃え功績を伝えるとともに、移民の歴史を後世に伝えるため移民をテーマとしたパネル展を実施した。また、顕彰式終了後は、海外移住者子弟等研修生や青年海外派遣事業研修生による移住地の紹介や各国の金武町人会の紹介、移住地を訪れた方の講話、南米の打楽器演奏、南米料理の試食等を含めたステージイベントを実施した。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	11,196	2,949	0	2,771	2,771	
		(b) 予算現額	9,150	2,736	0	2,441	1,124	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,046	▲ 213	0	▲ 330	▲ 1,647	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	9,150	2,736	0	2,441	1,124	
	B. 執行済額		9,182	2736	0	2,397	1,123	
	うち交付金充当額		7,345	2185	0	1,901	899	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.3%	100.0%	#DIV/0!	98.2%	99.9%	
	予算の状況の説明		当初予定していた事業内容の変更に伴い、3月の最終補正で1,647千円を減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	○當山久三顕彰式の実施 ○當山久三等の移民関連資料を活用した学習会の実施 ○公演会等のイベント実施 ○移民関連展示会の実施	目 標	()	世界のシマヌチュ大会へ集約のため事業未実施	()	()	()	
		実 績	・顕彰式の実施		()	()	()	
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明	12月5日の移民の日に當山久三顕彰式及び移民関連資料パネル展示を実施し、移民の歴史的背景、移民事業に尽力した本町の偉人や移住地の様子などを町民に広く周知するとともに、海外移住者子弟等研修生や青年海外派遣研修生に移民をテーマとした学習会を実施し、本町と移住地の深い繋がりやルーツを再認識する学びの機会を提供した。顕彰式終了後は、研修生による移住地の紹介や移住地を訪れた方による講話を実施し、海外で生活するシマヌチュや移住国をより身近に感じながら移民の歴史に触れる機会を提供した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	①移民の日関連事業参加者数:延約500人以上	目 標	()	()	(500人)	(500人)	()	
		実 績			182人	175人		
	【参考指標】②参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実 績		97.80%	94.70%	96.30%		
	進捗状況説明	當山久三顕彰式、移民関連資料のパネル展、移民をテーマとした学習会のほか、顕彰式終了後はステージイベントを実施し、参加者数は175人となり、目標を下回った。 参加者アンケートでは、「移民の歴史に対する理解が深まったか」については80%以上となっており、目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	参加者数が目標を下回ったのは、イベントの周知不足や若い世代の参加が少ないことが考えられる。	SNS等を活用した周知や、若い方が参加できるワークショップ等の実施も含め検討する。
今後の取り組み方針		
町の広報誌やホームページ、ライン等を活用し、幅広い世代が情報を得られるよう、様々な方法を活用し周知を行うとともに、幅広い世代が参加できるようパネル展のほか、有識者による當山記念館の案内やワークショップの開催など、イベントの内容も充実させるよう、取り組んでいきたい。		



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業内容に見合っており適正であったと考える。 ○費用や使途については、精算段階で検査をしており、目的に即し必要なものであったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	